

事業所名

こどもセンターゆいまわる

支援プログラム(参考様式)

作成日

令和7年

2月

28日

法人(事業所)理念		誰もが「届けたい教育」を自由に選び、みんなでデザインし、楽しく叶えていける社会であってほしい。 YUIMAWARUは家庭・学校・地域を届けたい教育でつなぐことを目指します。								
支援方針		■自由に選択する ■楽しく叶える ■みんなでデザインする								
営業時間		9時	00分	から	17時	00分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・個別療育が楽しみな時間となるように設定し、子ども自身が目的を持って通所できるように工夫する。 ・心身のパワーが発散できるよう配慮することで健康に過ごせるようサポートする。 ・健康状態の把握や生活リズムの安定を図る ・基本的生活習慣の獲得の為、主体的にできることを目的に、見守りや声かけ、必要に応じた環境支援を取り入れる。 ・体験や経験の機会を作り、充実した生活に繋げていく 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚あそび(大豆や絵の具)や感覚統合遊具などを用いて、様々な感覚を経験することにより、あそびを通してボディイメージの成長を促す。 ・粗大運動を中心にした身体の土台作り ・スキンシップあそびなど人とコミュニケーションを図る活動を取り入れ、環境との相互作用による充実感や安心感を伴いながら経験できる機会を作る 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の好きなあそびから広げ、自分で考える、やってみる、試行錯誤できる機会を十分に作る ・主体的にあそびに取り組むことで、達成感や自信を感じ、自ら活動する力を育てる。 ・環境設定や提案を工夫することで、興味の幅が広がり、見通しを緩やかにしたり、イレギュラー時の対処法を身につけられるようにしていく。 								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく遊べる環境を提供することで、感情が動く瞬間を増やし、話したい・伝えたいというコミュニケーション意欲を育てる ・子どもが発信するサインを大人がキャッチすることで、伝わったという実感を積み重ねるようにする。 ・言語に限らず、表情や仕草、あそびなど様々な手段を用いて、自分の思いを表現できる環境作りを行う。 								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを中心に、場に集うすべての人が感情を分かち合えるような居場所となる ・強みを活かした役割を行うことで、人の役に立てる経験を積み重ね、自己肯定感が向上するよう支援を行う。 ・家庭や園以外で、のびのびと自分らしく過ごせるよう努めていく。 								
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ■子どもの様子を客観的に観察できる環境を提供し、新たな気づきの場として活用できるようにする。 ■保護者の困り感や気づきをいつでも話せる環境を確保し、安心した子育てに繋げる 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ■自分らしく社会で過ごすために ・移行先との情報共有や、届けたい教育にフォーカスした支援方法の提案 ・同世代との交流を図るためにグループ療育の実施 ・地域住民を巻き込んでのイベントの開催 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携を行う ・園や事業所からの相談や共有があれば療育の視点での提案を行う 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・発達特性や支援の手立てを研修会で学び、専門性を高める ・SV制度を導入しており、子ども理解を深める ・支援の中での気づきや変化は職員間で共有し、積極的に事例検討会を実施していく 		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・親子芋ほりや公園などの戸外活動・地域交流を目的としたマルシェ ・季節ごとのイベント(地域の保育園と合同イベント等) ・発達や興味関心に合わせたお買い物体験、料理体験、畑作業など 								